



特別の教科 道徳の授業の様子を、道徳通信でお伝えします。今回は、1年2組です。

第4回道徳 「ともだち」 ～友情・信頼～

身近にいる友達と一緒に、仲良く活動することのよさや楽しさ、助け合うことの大切さなどについて、クラスみんなで話合いました。

「ともだちと仲良くするために、どんな言葉を掛けたらいいかな。」

喧嘩をした時に、気持ちが悪く伝わらなくて、心が傷付きます。

友達がいるから、楽しいし、元気になります。

「ともだち」って、なんだろう？

挨拶をすると、いい気持ちになって友達になりやすくなります。

困っている時に、助けてくれます。

手伝おうか。大丈夫？と言います。

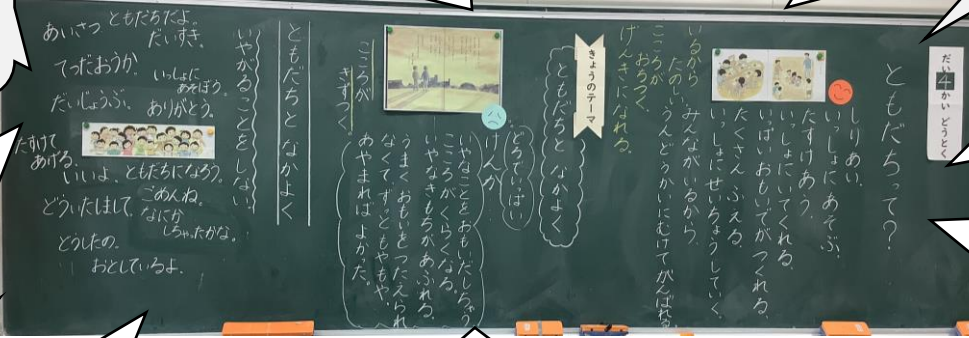
ごめんね。と、ちゃんと謝ります。

けんかをした後、帰ったら、ずっとそのことを思い出してしまいます。

友達と遊んで、いっぱい思い出が作れます。

友達がいいたら、心が落ち着きます。

一緒に成長していく仲間です。



自分自身を振り返って ～友達について考えたこと～

- ・友達をたくさんつくりたい。友達をつくっていっぱい遊びたい。
- ・みんなが助け合っていくのが大切。仲間が大切。友達がみんな大切。
- ・けんかをした後、次の日の朝「ごめんね」と言ったほうが良い。
- ・みんながいるから、心が落ち着く。
- ・「手伝おうか」「助けてあげる」「落としているよ」「どうしたの」と言いたい。
- ・みんながいるから頑張れる。元気になれる。みんなが支えてくれる。
- ・挨拶をすれば、自分も相手もすっきりするから、友達になりやすい。
- ・「一緒に遊ぼう」と言ったら「いいよ」と言われて、心が気持ち良くなった。